

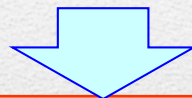
# 『第10次鳥取市総合計画』 〈概要版〉



# 1 計画策定の趣旨、計画の役割

## ①計画策定の趣旨

人口減少や経済・雇用状況の低迷、地方創生といった時代の潮流を踏まえ、中核市移行を見据えた計画

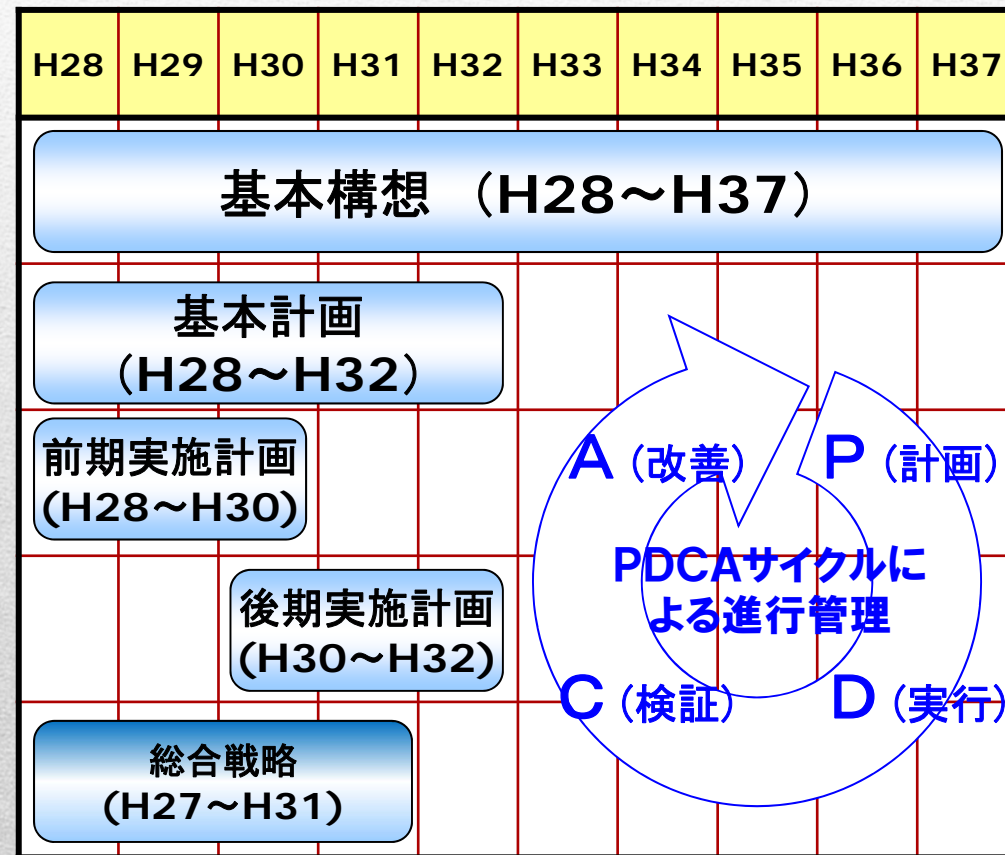


市民サービスを充実し、まちを構成するさまざまな主体が役割を担い、参画と協働を一層進めながら、圏域全体で未来へと発展するまちづくりを進めます。

## ②計画の役割

「新市まちづくり計画」や「第9次鳥取市総合計画」、「新市域振興ビジョン」を踏まえ、平成37年度までの長期展望にたち、鳥取市の市勢振興の基本的方向を示すとともに、本市のめざす将来像を明らかにします。

## 2 総合計画の構成と期間

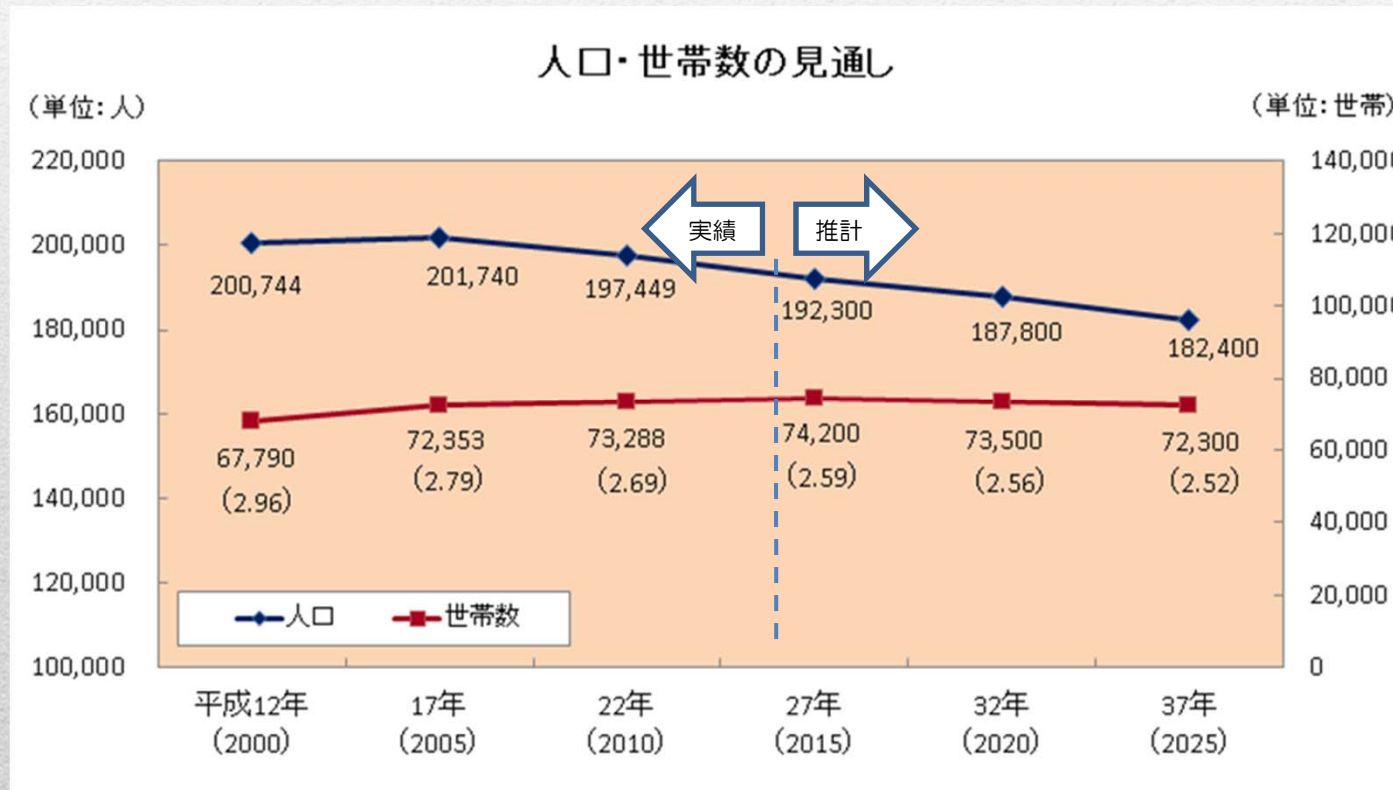


# 3 鳥取市を取り巻く社会経済情勢

- 人口減少時代の到来
- 多様な価値観や多彩なライフスタイルへの対応
- 地域経済の再生
- グローバル化の進展と交流人口の拡大
- 自然災害をはじめさまざまな危機に対する安全意識の高まり
- 環境・エネルギー問題への対応
- 情報通信技術の進化
- 自立した自治体経営の実現
- 地方創生の推進

# 【人口・世帯数の見通し】

- 国の人口※1は、平成60年に1億人を割り、平成72年には8,674万人にまで減少すると見込まれています。
- 本市の人口※2は、平成32年には、187,800人、平成37年には182,400人に減少すると推計しています。

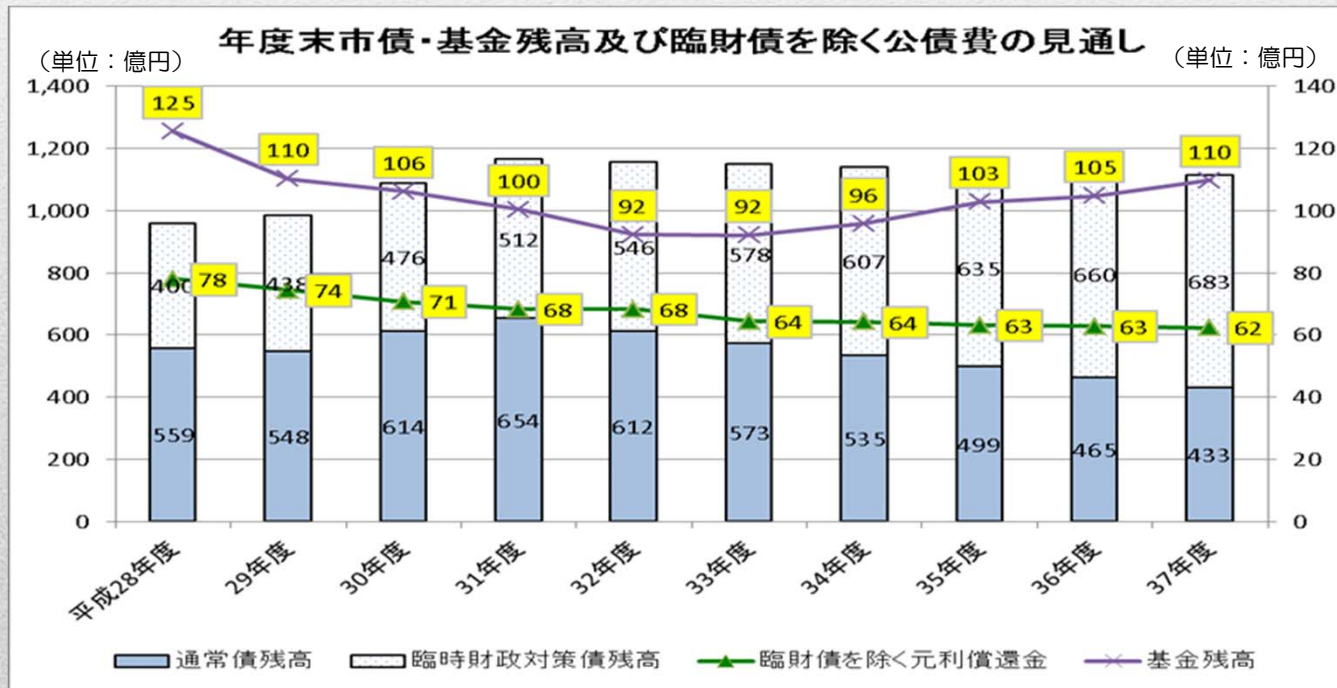


※1 国立社会保障・人口問題研究所推計

※2 H22までは国勢調査結果、H27以降は鳥取市人口ビジョン等による推計値

# 【長期財政の見通し】

- 歳入**
  - 市税は人口減少や地価の下落等により、現状を下回る規模に
  - 地方交付税は中核市移行、社会保障関連経費の増大等により緩やかに増加
- 歳出**
  - 扶助費は生活保護費など社会保障関連経費の増加により拡大
  - 公債費は、任意の繰上償還や市債発行の厳選効果により臨時財政対策債を除く元利償還金が着実に減少



# 4 まちづくりの理念と将来像

- まちづくりの理念

「鳥取市を飛躍させる、発展させる」

産業、文化、教育、福祉、環境等の各分野において、鳥取県東部地域の中核都市として明るい未来へ飛躍させる、水と緑に恵まれた豊かな自然・歴史・文化や地域の発展を支えてきた産業を次の世代に継承していくため、これまでに取り組んできた自然・歴史・文化と共生するまちづくりをさらに発展させるまちづくりを進めます。

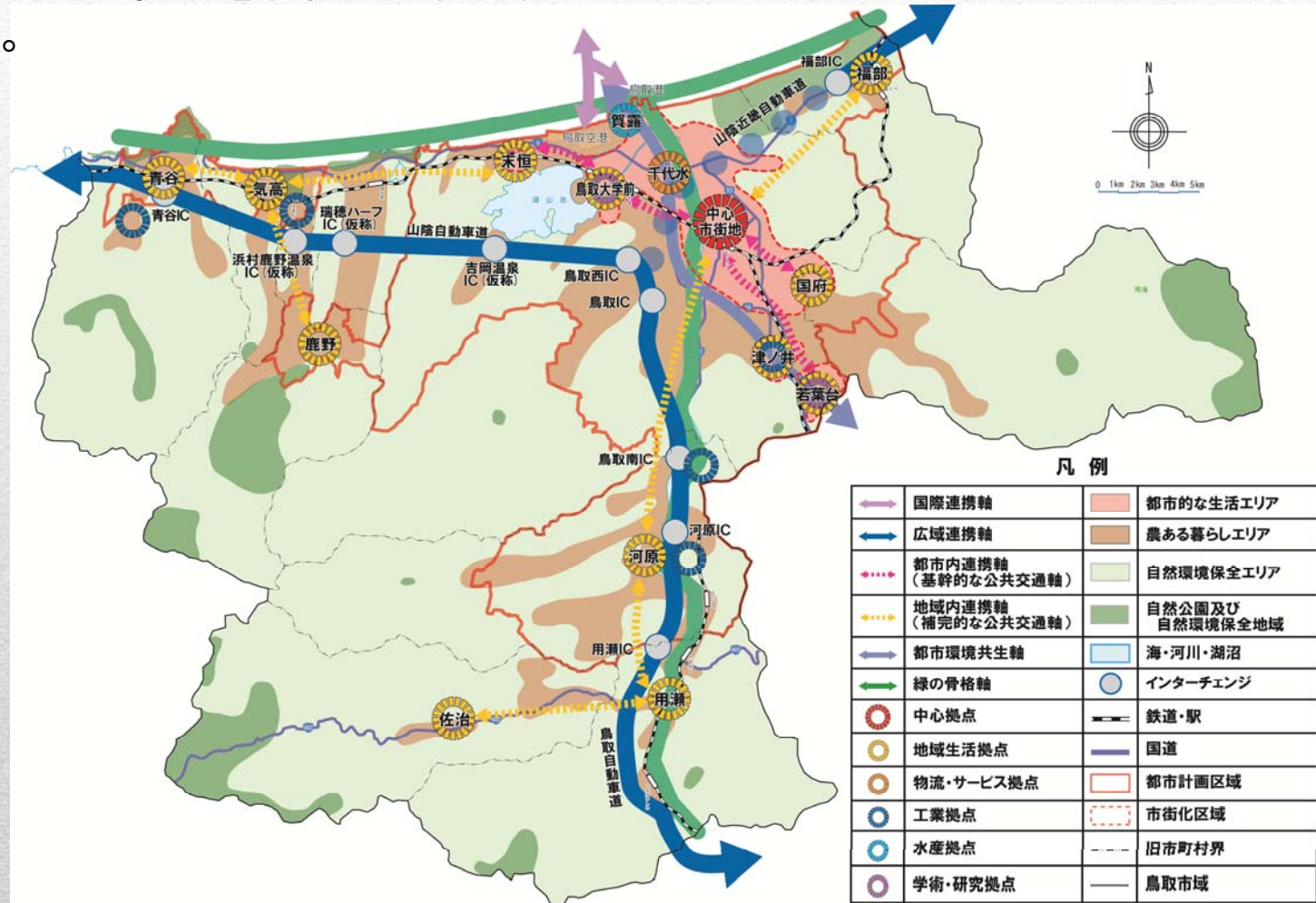
- めざす将来像

「いつまでも暮らしたい、誰もが暮らしたくなる、  
自信と誇り・夢と希望に満ちた鳥取市」

豊かな自然とまちが共存する多彩な地域で、多様なライフスタイルをかなえることができ、安全で安心な暮らしの中で自信と誇り・夢と希望に満ちた生活を送れるまちをめざします。

# 5 都市のすがた

中心市街地と生活拠点を有機的に結ぶ多極ネットワーク型のコンパクトなまちづくりを進めます。





# 6 まちづくりの目標と政策

## ①安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち

### 政策1 豊かな心をもった、たくましいひとづくり

人間性豊かで思いやりがあり、郷土を大切にする、次代を担うたくましい人材を育成します。

### 政策2 安心して子どもを産み育てられるまちづくり

安心して子どもを産み育てたいという希望がかなえられるよう、出会い・結婚・妊娠・出産・子育てに対する切れ目ない支援を行い、子育てしやすいまちづくりを進めます。

### 政策3 住み慣れた地域でいきいきと暮らせるまちづくり

住み慣れた地域で、誰もが支え合い、助け合いながら、健康でいきいきと暮らせるまちづくりを進めます。

### 政策4 互いの人権を尊重する心豊かな社会づくり

一人ひとりの人権が尊重され、互いに認め合う心を醸成し、協力しながら暮らすことができる心豊かな社会をつくりまします。

## ②新しいにぎわいのあるまち

### 政策1 地域経済の再生と産業の底上げ

地元企業への支援や成長産業などの企業誘致により、地域産業の競争力の強化と雇用創造による地域経済の活性化を図ります。また、人材の育成・確保の推進、新規創業・就農等の充実を図り、地域資源を生かした産業の底上げを進めます。

### 政策2 地域資源を生かしたまちづくり

地域資源の魅力を最大限に生かし、国内外への知名度を高め、観光客をはじめ多くの方が訪れるまちづくりを進めます。

## ③地域に活気のあるまち

### 政策1 協働のまちづくり

市民と市が、まちづくりの担い手として、それぞれの役割を分担し、地域課題の解決に向けた取組や地域に愛着と誇りをもてるまちづくりを進めます。

### 政策2 交流の拠点となるまちづくり

若者や移住希望者、外国人が住んでみたいと思えるまちづくりを進めます。また、都市機能が集積した中心市街地の活性化と、生活拠点を中心とした魅力ある中山間地域の振興を図ります。

### 政策3 魅力ある鳥取文化づくり

市民が文化芸術を身近に親しみ、伝統芸能や伝統文化を保存・継承し、文化芸術の発展と創造、また、郷土の誇りである文化財の保護と活用により、魅力ある鳥取文化を次代に継承します。



とっとりふるさと元気塾

## ④安全・安心なまち

### 政策1 暮らしの安全を守るまちづくり

市民が互いに協力し合い、防災・防犯対策や安全な消費生活の確保など暮らしの安全を守る取組を進めます。

### 政策2 快適でゆとりある生活環境づくり

公園、住宅、道路、上下水道、公共交通等の生活基盤が整い、快適で利便性の高い住み良い生活空間を実現します。



鳥取自動車道

## ⑤まちづくりを支える自立した自治体経営

### 方針1 中核市移行等による地方分権の推進と開かれた市政の運営

国の法律改正や制度改正の動きを注視しながら、中核市移行等により地方自治体の自主性、自立性を高める地方分権を推進するとともに、基礎自治体としての機能強化に向けた取組や国・県との連携による地域課題の解決に取り組みます。また、分散する本庁機能を集約し、防災や市民サービスの拠点となることはもとより、将来にわたって山陰東部圏域が一体的に発展を続ける礎となる新本庁舎の建設を進めます。さらには、情報公開制度等の適正な実施と広報手段の活用により、行政情報を市民にわかりやすく伝えるとともに、さまざまな広聴活動を通じ、幅広く市民の意見を聞くなど、透明性の高い開かれた市政を推進します。

### 方針2 自治体間の広域的な連携の推進

「鳥取・因幡定住自立圏」の推進や中核市移行に併せ進める「連携中枢都市圏」の形成など、近隣自治体との連携はもとより、県境を越えたさまざまな広域連携の取組を進めることで、圏域全体の持続的発展と魅力向上を図ります。また、整備された情報、高速道路ネットワークを活用して、地理的、歴史的、経済的ゆかりのある各都市と連携し、地域の発展につながる取組を展開します。

### 方針3 情報通信技術・ビッグデータの活用

情報セキュリティを強化し、行政内部の情報システムを安定的に運用するとともに、情報通信技術の進展に対応した行政サービスの向上や二次利用可能な行政情報の提供等を行います。また、地域経済分析システム「RESAS」をはじめとするビッグデータを有効に活用し、戦略的に施策を展開します。

### 方針4 財政基盤の強化

安定した財政基盤を確立するため、限られた財源による事業の「選択と集中」を一層強化するとともに、第6次鳥取市行財政改革大綱に基づくさまざまな取組を推進します。

### 方針5 ファシリティマネジメントの推進

公共施設の管理・更新・利活用を効果的に行うため、ファシリティマネジメントの考え方に基づく手法を用いた施設経営の取組を推進します。

# 7 総合計画の体系

めざす  
将来像

いつまでも暮らしたい、誰もが暮らしたくなる、  
自信と誇り・夢と希望に満ちた鳥取市

まちづくりの理念

鳥取市を飛躍させる、発展させる

まちづくりの目標

- ①安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち
- ②新しいにぎわいのあるまち
- ③地域に活気があるまち
- ④安全・安心なまち
- ⑤まちづくりを支える自立した自治体経営

鳥取市創生総合戦略

～郷土愛を育み 人がつながる まちむら創生～

- 1 次世代の鳥取市を担う‘ひとづくり’
- 2 誰もが活躍できる‘しごとづくり’
- 3 にぎわいにあふれ安心して暮らせる‘まちづくり’

戦略期間：平成27年度～平成31年度

鳥取市創生総合戦略は第10次鳥取市総合計画の重点施策と位置づけます。

# 鳥取市創生総合戦略

～郷土愛を育み 人がつながる まちむら創生～



次世代の鳥取市を担う  
1st generation.

## 教育の充実・郷土愛の醸成

- ①郷土愛を育む教育の推進
- ②次世代を見据えた特色ある教育の推進

## 結婚・出産・子育て支援

- ①新たな出会いの創出と結婚支援
- ②妊娠・出産への包括的支援
- ③待機児童ゼロの継続と子育てサービスの充実
- ④仕事と生活の調和の推進



小中学校をつなぐ兼務教員



「すごい！鳥取市婚姻届用紙」  
で思い出に残る結婚を！

# 鳥取市創生総合戦略

～郷土愛を育み 人がつながる まちむら創生～



誰もが活躍できる  
コミュニティ。

## 地域経済の再生と産業の底上げ

- ①成長産業の振興
- ②工業の振興
- ③商業・サービス業等の振興
- ④農林水産業の振興



エネルギーの地産地消の推進  
(超小型モビリティ)

## 人材の確保と育成強化

- ①人材育成・確保の推進
- ②新規創業・就農等の充実



とっとりふるさと就農舎による  
新規就農支援

# 鳥取市創生総合戦略

～郷土愛を育み 人がつながる まちむら創生～



「すごいわい」であふれ安心して暮らす暮らしを、まちづくりで。

## ふるさと・いなか回帰の促進

- ①人材誘致・ふるさと回帰の充実
- ②田舎暮らし環境の充実



移住定住相談会

## 交流人口の拡大

- ①滞在型観光の推進
- ②文化芸術を生かした個性あるまちづくりの推進
- ③「すごい！鳥取市」による知名度アップ大作戦の積極展開



鳥取砂丘砂の美術館

# 鳥取市創生総合戦略

～郷土愛を育み 人がつながる まちむら創生～



3  
にぎわいのあふれるまちづくり  
暮らしを安心させる。

## 住み良い環境づくり

- ①健康寿命の延伸につながる住み良い暮らしの実現
- ②魅力ある中山間地域の振興
- ③多極型・コンパクトな都市環境を生かした安全なまちづくりの推進
- ④中心市街地の活性化
- ⑤利便性の高い公共交通の確保
- ⑥広域連携及び自治体間連携の推進



健康相談



移動販売車による買い物支援



バード・ハット



# 第10次鳥取市総合計画（案）の特性

---

# 1 地方創生の時代を踏まえ、次代を見据え、「鳥取市らしさ」を大切にしたい計画

人口減少の抑制に向け、若者の定住や雇用・就業環境の確保、まちなにぎわいづくりといった課題の克服や「鳥取市らしさ」を生かしたまちづくりを強力に推進するために策定した「鳥取市創生総合戦略」を本計画の重点施策に位置づけ、地方創生の時代の中で「ひとづくり」を中心に、「しごとづくり」、「まちづくり」を総合的、一体的に推進します。

## 鳥取市創生総合戦略～郷土愛を育み 人がつながる まちむら創生～

### ◎次世代の鳥取市を担う‘ひとづくり’

- 教育の充実・郷土愛の醸成
- 結婚・出産・子育て支援

### ◎誰もが活躍できる‘しごとづくり’

- 地域経済の再生と産業の底上げ
- 人材の確保と育成強化

### ◎にぎわいにあふれ安心して暮らせる‘まちづくり’

- ふるさと・いなか回帰の促進
- 交流人口の拡大
- 住み良い環境づくり

## 2 中核市移行を見据えた計画

平成30年4月の中核市移行を見据え、新本庁舎の建設や駅南庁舎の「健康・子育て等の総合支援拠点」化を進め、きめ細かな行政サービスの提供に努めるとともに、基礎自治体としての機能を一層強化し、地方分権を推進します。

また、中核市移行に併せ進める連携中枢都市圏の形成により、山陰東部圏域のさらなる発展のけん引役として中心的な役割を担い、圏域全体の生活基盤の充実と一体的な発展に取り組みます。

## 3 「ひと」を大切に、「市民一人ひとり」による参画と協働のまちづくりを基本的な考えとした計画

(1) 市民参画事業等を実施し、市民の意見等を計画に反映しています。

- 市民アンケート調査結果
- 公募市民、市民活動団体や関係機関の代表者による「市民まちづくりワークショップ」からの提案等
- 地域振興会議など各種市民活動団体等からの意見、提案等
- 市民政策コメントによる意見、提案等

(2) 市民に取組の内容や成果がわかりやすくなるよう工夫しています。

- グラフ、イラスト、写真等を使用
- 施策の評価指標を明示

## 4 自立した自治体経営の実現をめざした計画

人口減少や高齢化の進展等により、地方の財政が厳しさを増す中で、中核市移行により、多様化する行政事務の効率化を図り、近隣自治体との広域的な連携を進めるとともに、ファシリティマネジメントの推進や行財政改革を積極的に推進し、財源の安定的な確保を図りながら自立した自治体経営の実現をめざします。

## 5 年度内の策定作業を進める「実施計画」

- 平成28～30年度（3年間）の「前期実施計画」を平成27年度内に策定します。
- 実施計画は、総合計画全体の進行状況を表し、PDCAサイクルにより成果を重視した進行管理を行います。
- 前期実施計画の進行状況等を踏まえて、平成30～32年度の「後期実施計画」を策定します。